

# 戸田市経済戦略プラン(案) 【暫定版】



戸田市 環境経済部 経済政策課

# 目次

内 容		頁
□	プランの位置づけ	1
◆	・戸田市経済戦略プランとは	1
◆	・プランの期間	2
□	戸田市産業振興計画の取り組みの評価と課題	3
◆	・6年間の取り組みの評価	3
◆	・課題と解決に向けて	5
□	経済戦略ビジョン	7
◆	・目指すビジョン	7
◆	・4つの柱	7
◆	・基本方針	8
□	具体的施策	11
◆	・各施策	11
◆	・事業概要	15

## ■ プランの位置づけ

### ◆ 戸田市経済戦略プランとは

#### (1) 戸田市産業振興計画（前計画）について

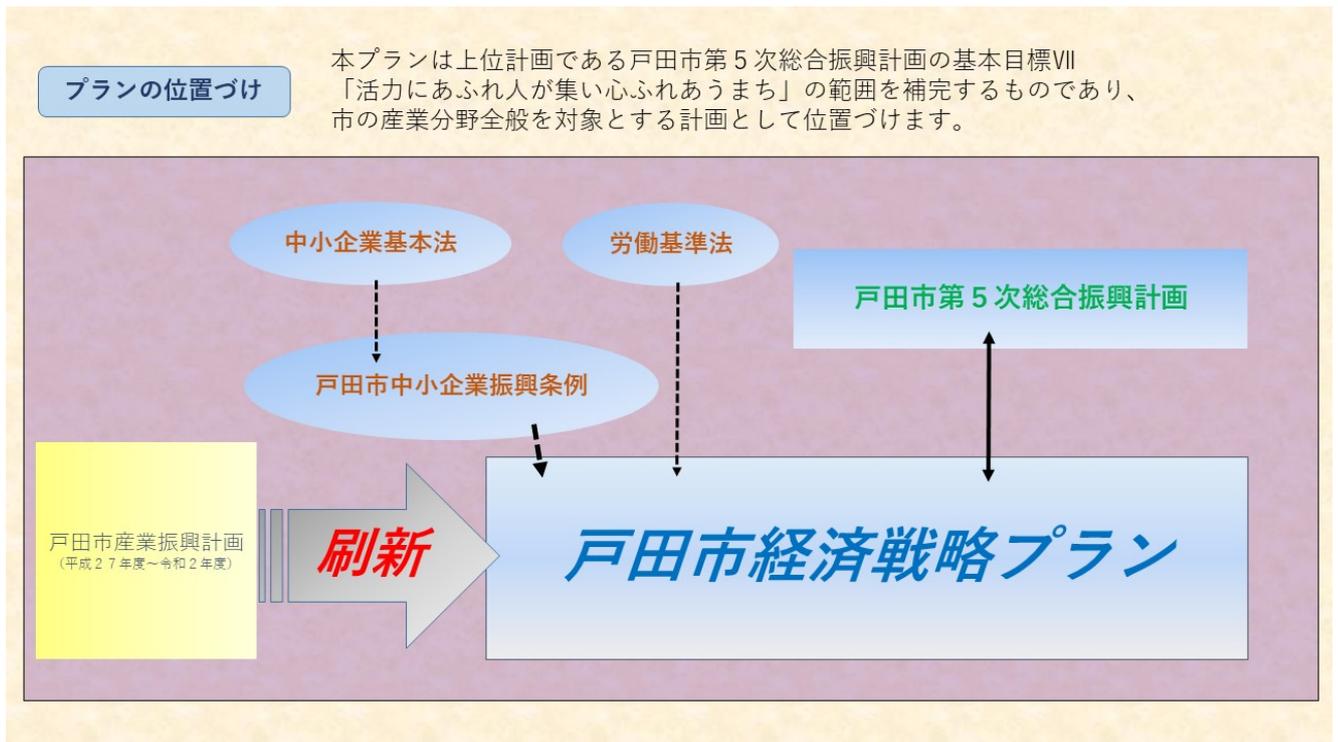
平成23年2月8日に戸田市中小企業振興条例を制定し、平成23年7月には戸田市中小企業振興会議を開催しました。

戸田市中小企業振興会議では、戸田市総合振興計画と整合する形で、産業振興ビジョンを確立するため、その策定に向けて取り組み、「戸田市産業ビジョンの骨子」として提言をまとめました。市ではその提言を受け、産業ビジョンを実現するための経済・産業分野に関する個別分野計画として、平成27年に「戸田市産業振興計画」を策定しました。

「戸田市産業振興計画」は、戸田市第4次総合振興計画で定められた基本目標のうち「活力と賑わいを創出できるまち」の方向性をベースに、本市の産業の現状や課題を踏まえて、目指すべき産業の姿や基本方向を見定めると共に、その実現に向けた施策の体系と重点的に実施する取り組みなどを盛り込んだ計画で、産業分野での目指すべき将来像を掲げた「産業ビジョン」と、ビジョン実現に向け各々の施策を体系的に取りまとめた「基本計画」部分、さらに、基本計画に取りまとめられたそれぞれの施策の具体的な実施方法等を示した「行動計画」を策定しました。

「行動計画」を策定したことで、「基本計画」の施策の進捗状況を戸田市中小企業振興会議において毎年チェックし、社会経済情勢の変化等に迅速に対応するため、ローリングを実施してきました。

## (2) 戸田市経済戦略プランについて



戸田市産業振興計画のこれまでの6年間の取り組みの中で、有効に機能した「基本計画」と「行動計画」の関係性や、戸田市中小企業振興会議でのチェック体制は維持しながらも、戸田市産業振興計画の成果と課題を洗い出し、より実効性のある施策を行う計画とするために、新たに戸田市経済戦略プランとして令和3年度から取り組むことになりました。

新型コロナウイルス感染症の影響により未曾有の状況に陥っている戸田市の経済に活力を与えるためには、「未来への投資」が必要であることから、戸田市産業振興計画の103個すべての施策について再度見直しを行い、今後も継続していくべき有効な施策は残しながらも、今の時代においてニーズが高く、また、未来への投資に繋がる新たな施策の創設、既存の施策の変更等を行っております。

## ◆プランの期間

戸田市経済戦略プランは、上位計画である戸田市総合振興計画の改定時期に合わせて今後改定していくことが望ましいため、本計画の期間は令和7年度を目標年次とし、令和3年度を初年度する5年間とします。

ただし、プラン策定後において経済構造や社会状況の変化により、必要に応じて見直すこととします。

## ■ 戸田市産業振興計画の取り組みの評価と課題

### ◆戸田市産業振興計画の6年間の取り組みの評価

戸田市産業振興計画では、目指すべき将来像を「事業者と行政は共に連携し、働く一人一人の輝きを高めて事業を発展させ、地域産業の多様性と結びつくことで大きな産業力を形成し、社会的責任を果たしながら、地域社会を支えていく。」とし、4つの「基本目標」と12の「施策の方向性」を定めました。

基本目標の取り組みの評価は以下のとおりです。

#### ○基本目標Ⅰ「個からの成長」

施策の方向性（1）活力ある事業所や個店

（2）魅力ある製品や商品

（3）いきいきと働く

事業者の個からの成長を促すために、魅力ある製品や商品の開発及び外部への発信を後押しする施策として、「新技術研究開発支援事業」や「展示会等出展支援事業」を行い、事業者に広く活用いただきました。

「チャレンジショップの運営と開業支援」では起業者への支援も行き、チャレンジショップへ多数の出店を促すことができました。

「ビジネスマナー研修会」については、市内事業者の新入社員や若手社員、教育担当者等を対象に、接遇や応対等の基本的なビジネスマナーなどを身につける機会を設け、多くの中小事業者の社員に経験を積ませる場となりました。

#### ○基本目標Ⅱ「地域との融合」

施策の方向性（1）協働の場とコミュニティ

（2）人・モノ・情報の循環

（3）快適なまちづくり

地域社会のコミュニティを産み出す場として、商工祭や収穫祭、朝市等のイベントの開催や実施のサポートをしてきました。その中でも朝市については、立ち上げ当初から参加店舗数や来場者数が大きく増加し、地域に賑わいをもたらす大きなイベントへと成長しました。

事業者同士の交流の場を促すための「ビジネス交流会開催事業」については、毎年70人程度が参加するイベントとして定着し、異業種の経営者同士の出会いの場を提供し、交流を深めることができました。

「住宅改修資金助成事業」については、市内事業者にも浸透し、広く活用され、居住環境の向上と大きな経済効果を生むことができました。

### ○基本目標Ⅲ「多様性の向上」

施策の方向性（1）イノベーションの創出

（2）人と企業を呼び込む

（3）事業の高度化や新展開

イノベーションの創出としては、起業支援センターの管理運営を中心として、市の起業支援の取り組みを推進する施策を行いました。

「女性の起業・再就職に関する支援の充実」は重点プロジェクトとして、女性職場環境整備補助金を創設するなど、市の独自支援を産み出すことの基となりました。

「戸田市水と緑の公社との連携による事業展開」の施策では、戸田市中小企業振興会議での提言も受けた、彩湖・道満グリーンパーク内での「手ぶらでバーベキュー」という新たな観光資源を創出することができました。

「商店等新業種転換支援事業」については、飲食業やサービス業等の事業者に活用いただき、空き店舗の解消や地域の賑わいの創出及び活性化につながった。

## ○基本目標Ⅳ「社会的責任の遂行」

施策の方向性（１）経営基盤の強化

（２）社会貢献の促進

（３）地球環境に配慮

「中小企業融資事業」については、市として継続的に制度融資を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、運転資金等が不足している事業者に対し、緊急の無利子・無保証の融資を実施し、幅広い事業者の経営を支援しました。

「商工団体支援事業」については、商工会が行っている事業者への経営相談を中心に支援を行い、各商店会事業への支援や戸田ブランド育成事業への支援等、幅広く行いました。

「中学生社会体験チャレンジ事業」については、市内事業者に地元の中学生を受け入れてもらうことで、事業者の社会貢献の意識を高めることができました。また、中学生に地元の事業者へ愛着を持ってもらうことに繋がる事業として、定着しました。

また、全体的な取り組みの評価としては、103個の具体的な施策を「行動計画」として毎年計画の進捗を確認するためのチェック機能があり、どの程度目標の達成に向けて活動したかが数値などで分かるようにまとめられたことがあります。この進捗状況は戸田市中企業振興会議において毎年報告をし、振興会議委員の意見によりローリングを行ってきました。

### ◆課題と解決に向けて

#### （１）課題

戸田市産業振興計画の課題としては、施策数が103個と多岐に渡っていたことで、内容が重複している施策があったことや、一部に実効性を伴わせることが難しい施策が入っていたことで、現実的な取り組みを行うが難しく、調査検討から進められなかった施策もありました。

行動計画による産業振興計画の施策の取り組み状況は次頁のとおりです。

施策全 103 件 令和元年度末時点取り組み状況

A 調査検討	:	18 件 (17.5%)
B 制度設計	:	2 件 ( 1.9%)
C 着手運用	:	0 件 ( 0%)
D 継 続	:	71 件 (68.9%)
E 見 直 し	:	4 件 ( 3.9%)
F 完 了	:	6 件 ( 5.8%)
G 打ち切り	:	2 件 ( 1.9%)

## (2) 課題解決に向けて

戸田市産業振興計画で取り組みを行ってきた施策のうち、実効性が伴った施策については、戸田市経済戦略プランでも継続して取り組みを行います。

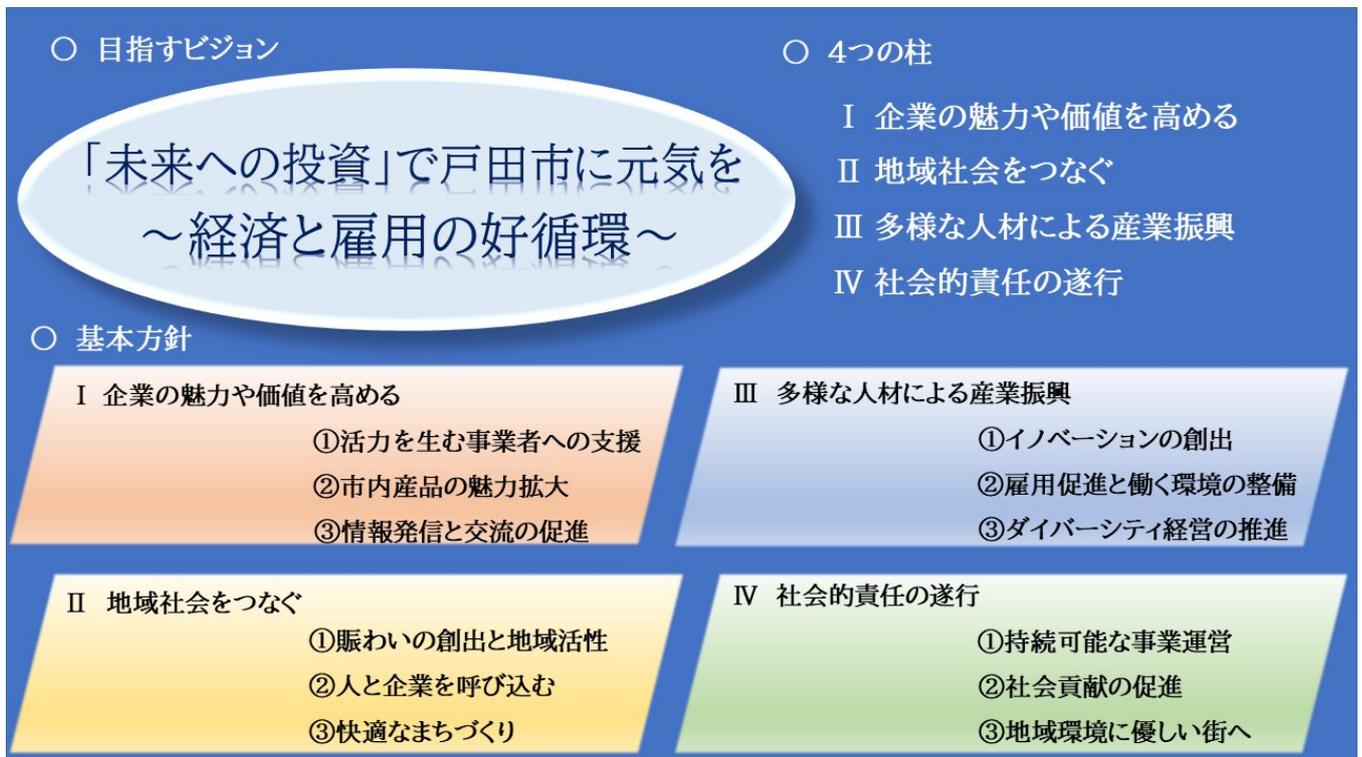
内容が重複していた施策については統合を行い、全体として施策数を絞ります。

取り組みが出来ていなかった施策については、現状に即した内容に修正を図り、実効性を伴う施策とします。

また、令和元年度に市内の約 1,100 の企業に対し行った企業調査結果を分析したところ、人材不足、後継者問題、柔軟な働き方などに課題を抱えている企業が多いことが分かりました。戸田市経済戦略プランでは基本方針「雇用促進と働く環境の整備」と「ダイバーシティ経営の推進」の中で「人材確保支援」や「多様な働き方を推進する職場環境整備」に関する施策を行い、基本方針「持続可能な事業運営」で「事業承継問題へのサポート」に関する施策を行います。

戸田市経済戦略プランでは、第5次総合振興計画との整合を図りつつも、市内経済の未来を考え、今後の新しい経済のあり方を見据えたより実効性のある施策を行っていきます。

## ■ 経済戦略プラン



### ◆ 目指すビジョン

「未来への投資」で戸田市に元気を  
～経済と雇用の好循環～

本市は意欲のある若手事業者や活躍したい女性、シニアなど「人財」の宝庫です。

これからの戸田市を担う世代へ「未来への投資」を行い、イノベーションの創出や販路開拓、雇用のミスマッチの解消などにより、「経済と雇用の好循環」を生み出し、働く人たちや企業が元気なまちへと進展させていきます。

### ◆ 4つの柱

目指すビジョンを実現するために、4つの柱を定めます。

IとIIIは事業者に対する支援を行う柱として、IIとIVは事業者と地域社会をつなぐ柱として決めました。

## I 企業の魅力や価値を高める

企業・事業者の競争力をつける支援事業や情報発信をしていくことで、市内企業・事業者の魅力や価値を高めることを目指します。

## II 地域社会をつなぐ

戸田橋花火大会や彩湖道満グリーンパーク等の戸田市の観光資源を活かして、地域社会を活性化するイベントや魅力発信を行い、企業・事業者と地域住民とのつながりを深めることを目指します。

## III 多様な人材による産業振興

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少や、家庭との両立など働き手のニーズが多様化する中、働く人たちが将来への展望を持てるよう、意欲・能力を存分に発揮できる職場環境づくりを推進することで、産業振興へとつなげることを目指します。

## IV 社会的責任の遂行

企業・事業者にも高い社会的責任が求められている中で、社会貢献活動を促進しながら、企業・事業者が持続可能な事業運営をできるように支援をします。

### ◆基本方針

4つの柱を支えるために、各柱にそれぞれ3つの基本方針を定めます。

#### 柱 I 企業の魅力や価値を高める

- ①活力を生む事業者への支援
- ②市内産品の魅力拡大
- ③情報発信と交流の促進

企業・事業者を支援する施策を主として行います。

「①活力を生む事業者への支援」では、従業員個々のスキルアップを図る補助金実施事業等を行い、「②市内産品の魅力拡大」では、ふるさと納税返礼品を新たに開拓し、戸田市の企業・事業者、商品をより一層全国に向けてPRします。

「③情報発信と交流の促進」では、工業見える化事業で情報発信を行い、ビジネス交流会では異業種の経営者間の交流を促進します。

## 柱Ⅱ 地域社会をつなぐ

### ①賑わいの創出と地域活性

### ②人と企業を呼び込む

### ③快適なまちづくり

「①賑わいの創出と地域活性」では、戸田橋花火大会を始めとした各種イベントの開催事業により賑わいの創出を行います。

「②人と企業を呼び込む」では、産業立地推進事業で企業を呼び込むと共に、彩湖道満グリーンパークの活用と魅力拡大やサイクリング環境の充実等で、更に人を呼び込むことを目指します。

「③快適なまちづくり」では、住宅改修資金助成金事業や緑のまちづくり推進により、快適なまちであり続けるための施策を行います。

## 柱Ⅲ 多様な人材による産業振興

### ①イノベーションの創出

### ②雇用促進と働く環境の整備

### ③ダイバーシティ経営の推進

「①イノベーションの創出」では、起業サポート体制を充実することで、イノベーションを産み出す起業者を支援します。

「②雇用促進と働く環境の整備」と「③ダイバーシティ経営の推進」については、多様な働き手の雇用促進に努めるとともに、働く人が就職・就労しやすい支援体制を充実させます。

## 柱Ⅳ 社会的責任の遂行

- ①持続可能な事業運営
- ②社会貢献の促進
- ③地域環境に優しい街へ

「①持続可能な事業運営」については、多くの企業で課題として認識されている事業承継問題へのサポートや、災害等に対する企業の経営基盤強化としての事業継続力強化計画策定支援など、今の時代に求められている施策を行います。

また、2015年（平成27年）9月に国連サミットにおいて、2030年（令和12年）までに達成すべき国際社会共通の17の目標として掲げられたSDGsについて、世界各国の企業において取組意識が高まっているものの、取り組みができていない企業も多くあります。「②社会貢献の促進」ではCSRの認定活動を通して、SDGsの推進をします。

「③地域環境に優しい街へ」では、ISOの取得など、自主的な環境への取り組みを行う事業者を支援します。

■ 各施策

4つの柱 | 企業の魅力や価値を高める

基本方針（1） 活力を生む事業者への支援

- ◇従業員個々のスキルアップ
- ◇新技術研究開発支援事業
- ◇公衆浴場近代化設備資金補助事業

基本方針（2） 市内産品の魅力拡大

- ◇優良推奨品（戸田ブランド）創出と魅力アップ
- ◇販路拡大支援事業
- ◇ふるさと納税返礼品PR事業

基本方針（3） 情報発信と交流の促進

- ◇ビジネス交流会開催事業
- ◇工業見える化事業
- ◇埼玉県産の農作物の購入促進
- ◇収穫体験等姉妹都市交流事業

## 4つの柱 II 地域社会をつなぐ

## 基本方針（1） 賑わいの創出と地域活性

- ◇イベントの開催による賑わいの創出
- ◇土に親しむ広場の利用促進
- ◇商業活性化推進事業
- ◇戸田橋花火大会の開催

## 基本方針（2） 人と企業を呼び込む

- ◇彩湖道満グリーンパークの活用と魅力拡大
- ◇戸田市観光情報館トピックの管理運営と販売促進
- ◇サイクリング環境の充実
- ◇観光・お店マップの作成
- ◇フィルムコミッションの運営
- ◇産業立地推進事業

## 基本方針（3） 快適なまちづくり

- ◇緑のまちづくりの推進
- ◇住宅改修資金助成事業
- ◇商店街街路灯の維持管理支援

## 4つの柱 III 多様な人材による産業振興

### 基本方針（1） イノベーションの創出

- ◇起業サポート体制の充実
- ◇起業支援セミナー開催事業
- ◇商店等新業種等転換支援事業

### 基本方針（2） 雇用促進と働く環境の整備

- ◇雇用対策の推進
- ◇就職・就労支援の充実
- ◇永年勤続従業員の表彰
- ◇ビジネスマナー研修会開催事業

### 基本方針（3） ダイバーシティ経営の推進

- ◇事業者に対する多様な人材確保支援
- ◇多様な働き方を推進する職場環境整備
- ◇多様な働き手の雇用拡大に向けた事業者への働きかけの促進

## 4つの柱 IV 社会的責任の遂行

### 基本方針（1） 持続可能な事業運営

- ◇事業承継問題へのサポート
- ◇業務効率化支援と啓発
- ◇企業の経営基盤強化（BCP計画策定支援）
- ◇健康経営の推進
- ◇中小企業融資事業
- ◇合同企業説明会（面接会）の開催
- ◇商工団体支援事業

### 基本方針（2） 社会貢献の促進

- ◇CSR認定活動を通して企業へのSDGsの推進
- ◇学校と連携しての職業体験、社会体験事業
- ◇企業人権学習等の充実

### 基本方針（3） 地球環境に優しい街へ

- ◇エコに取り組む事業者への支援
- ◇低公害車導入の普及促進と環境整備
- ◇環境配慮型システム設置の支援

# ■ 事業概要

## ◆4つの柱 I ◆ 企業の魅力や価値を高める

### 基本方針(1)活力を生む事業者への支援

	施策名	推進主体(主管課)	事業概要	第5次総合振興計画 での該当施策
			目標となる指標	
1	従業員個々のスキルアップ	市(経済政策課)、事業者	<p>公的資格等取得補助金を活用することにより、現在雇用している従業員に資格を取得させ、個々のスキルアップを図ります。 優秀な人材の確保が難しい状況であっても、必要なスキルを持つ人材を各企業で育てることで、雇用の定着に繋げていきます。</p>	30
			公的資格取得補助金の交付件数	
2	新技術研究開発支援事業	市(経済政策課)、事業者	<p>独自の技術や技術水準の向上、新製品や新技術の開発を支援することにより、市内事業者の競争力強化、脱下請けや取引先の拡大を図ります。</p>	30
			商工業支援事業補助金(新技術研究開発支援事業)の交付件数	
3	公衆浴場近代化設備資金補助事業	市(経済政策課)、一般公衆浴場	<p>一般公衆浴場の設備の近代化を促進し、健全な経営を維持するために、埼玉県公衆浴場近代化設備資金補助金の対象となった一般公衆浴場の設備の設置及び改修に対し、補助を行い支援します。</p>	30
			公衆浴場近代化設備資金の補助件数	

### 基本方針(2)市内産品の魅力拡大

4	優良推奨品(戸田ブランド)創出と魅力アップ	市(経済政策課)、商工会	<p>市内の優良な商品や製品、技術を推奨品等として認定することにより、消費の際の信頼を高めるとともに、「戸田ブランド」として普及と需要の拡大を図ります。戸田ブランド委員会において、新しい優良推奨品の創出、優良推奨品制度のあり方、新しい認定基準などを検討していきます。</p>	30
			優良推奨品(戸田ブランド)に認定された件数	
5	販路拡大支援事業	市(経済政策課)、事業者	<p>市内の事業者が国内外の展示会に出展し、自社の製品や技術を積極的に外部へ発信していくことを支援することにより、事業者の製品や技術力の周知と競争力の強化を図ります。また、販路拡大のため、彩の国ビジネスアリーナ等の展示商談会で市が確保したブースに市内事業者の出展を促します。</p>	30
			商工業支援事業補助金(展示会等出展支援事業)の交付件数 市内産品等セールス支援事業を活用し出展した事業者数	
6	ふるさと納税返礼品PR事業	市(経済政策課)、事業者	<p>市の産品を広く全国にPRできる場として、ふるさと納税制度を活用します。実施にあたっては、ふるさと納税支援サイトを適切に活用し、発信をおこなっていきます。体験型返礼品も含めて、返礼品の更なる充実を図ります。</p>	10、30、31
			ふるさと納税返礼品の出品数	

### 基本方針(3)情報発信と交流の促進

7	ビジネス交流会開催事業	市(経済政策課)、商工会、事業者	<p>商業や工業などの枠を越えた異業種の経営者同士の出会いの場を提供し、情報交換や連携力を高めるとともに、支援機関等とのネットワークを構築します。</p>	30
			ビジネス交流会に参加した事業者数	
8	工業見える化事業	市(経済政策課)、事業者	<p>普段馴染みの薄い工場等の事業内容や生活との関わりといった情報を記載したプレートを作成し、各事業者が掲示することにより、工業に対する理解の醸成と操業環境の向上を図ります。</p>	29、30
			工業見える化事業への参画企業数	
9	埼玉県産の農作物の購入促進	市(経済政策課)、生産者	<p>市内の産業のうち農業が占める割合の少ない戸田市では、県が推進する地産地消への取組を踏まえ、埼玉県産及び国産の農産物の購入を促進します。</p>	9、25、32
			市開催イベントにおいて、市内農家や姉妹都市の美里町で生産された野菜を販売する。	
10	収穫体験等姉妹都市交流事業	市(経済政策課)、美里町	<p>姉妹都市である埼玉県美里町との交流事業の一環として、美里町内でじゃがいもの収穫を体験するとともに、現地に滞在して地域資源について理解を深めます。</p>	9、25、32
			美里町での収穫体験事業への参加者数	

## ◆4つの柱Ⅱ◆ 地域社会をつなぐ

### 基本方針(1)賑わいの創出と地域活性

	施策名	推進主体(主管課)	事業概要	第5次総合振興計画での 該当施策
			目標となる指標	
11	イベントの開催による賑わいの創出	市(経済政策課)、商工会、戸田市水と緑の公社、各商店会、市民	「戸田市商工祭」「戸田市収穫祭」「彩湖・道満グリーンパークでの各種イベント」「各商店会のイルミネーション」「戸田朝市」等市民や各種団体が共に協力し賑わいを創出するイベントを開催します。	31
			各イベントの開催数、来場者数	
12	土に親しむ広場の利用促進	市(経済政策課・教育政策室・保育幼稚園課)	市民農園「土に親しむ広場」について周知を図るとともに、広場の共有スペースを活用し、利用者との協働による良好な景観形成を図ります。また、教育センターが行う「すてっぷ教室」の児童生徒や保育園児への農業体験による生きた環境教育の場として活用します。	9、25、31、32
			広場の貸出区画数	
13	商業活性化推進事業	市(経済政策課)、商店会	市内の商店会や商業団体が地域住民に親しまれ活力あるものとなるように、イベントをはじめ地域特性に合わせ創意工夫がみられる事業に対し、対象経費の一部を補助して支援します。	30
			商業活性化推進事業補助金の交付件数	
14	戸田橋花火大会の開催	市(経済政策課)	昭和25年に当時の戸田町と板橋区との境界変更が成立したことを記念し、翌年8月に開催したのを皮切りに、第2回から荒川を挟んで板橋区との同時開催で継続しています。市を代表するイベントとして賑わいを創出すると共に、地域の活性化に繋げていきます。	31
			戸田橋花火大会への来場者数	

### 基本方針(2)人と企業を呼び込む

15	彩湖道満グリーンパークの活用と魅力拡大	市(みどり公園課)、公園指定管理者	彩湖・道満グリーンパークの魅力を増大するため、公園指定管理者が中心となり、金魚釣り場、へら釣り場、中心広場等の公園施設の活用により、手ぶらパークの様な集客効果の高い事業を展開し、利用者数の増加を図ります。	31
			彩湖・道満グリーンパークの集客数	
16	戸田市観光情報館トピックの管理運営と販売促進	市(経済政策課)、戸田市水と緑の公社	戸田市優良推奨品などに認定された商品を中心とする展示販売コーナーを充実させるとともに、観光情報や店舗等の情報発信の場としての利用を促進します。	10、31
			駐車場利用台数	
17	サイクリング環境の充実	市(経済政策課)、戸田市水と緑の公社	観光雑誌等に掲載しているサイクリングマップを周知すると共に、市内にレンタサイクルポートを設置し市内の周遊性を高め、サイクリング観光をPRしていきます。	31
			レンタサイクルやシェアサイクルのポート設置数	
18	観光・お店マップの作成	市(経済政策課)、戸田市水と緑の公社	レジャー施設や観光名所だけでなく、市内の店舗情報も網羅した観光マップを作成し、店舗の情報を発信します。	31
			マップの掲載店舗数、観光入込客数として取りまとめた人数	
19	フィルムコミッションの運営	戸田市水と緑の公社、市(経済政策課)	戸田市を映像等を通じて発信し、まちの魅力を内外に向けて積極的にPRするとともに、市民の愛着に繋げるなど、良好な都市イメージの構築を図ります。	31
			戸田市での撮影実績件数	
20	産業立地推進事業	市(経済政策課)、事業者	工業地域等における工場の立地や設備投資に対し支援することで「工業の集積」を図るとともに、「新たな産業の誘致」と「既存産業の流出防止」を図るほか、立地に際しての市民の雇用を促進します。	29、30
			産業立地推進事業補助金の交付件数	

### 基本方針(3)快適なまちづくり

21	緑のまちづくりの推進	市(みどり公園課)、戸田市水と緑の公社、市民、事業者	緑に関するイベント、地域のまちづくり活動や講習会など様々な機会を通じ、市民、事業者との協働による緑のまちづくりを推進します。	25
			緑化に関する講習会やイベントへの参加者数 「とだグリーンウェイブ」活動による植樹累計数	
22	住宅改修資金助成事業	市(経済政策課)、市民、事業者	市内施工業者を利用し個人住宅等を改修する場合、その工事費の一部を助成することにより、地域経済の振興と居住環境の向上を図ります。	30
			住宅改修資金助成金の交付件数	
23	商店街街路灯の維持管理支援	市(経済政策課)、街路灯管理団体	地域の安心・安全に貢献している商店街街路灯の維持管理を支援するため、街路灯管理団体に対し電気料金や改修等の経費の一部を補助して支援を行います。	30
			商店街街路灯電気料補助金の交付件数	

## ◆4つの柱Ⅲ◆ 多様な人材による産業振興

### 基本方針(1)イノベーションの創出

	施策名	推進主体(主管課)	事業概要	第5次総合振興計画での 該当施策
			目標となる指標	
24	起業サポート体制の充実	市(経済政策課)、商工会	商工会や関連機関と連携し、起業相談を実施し、様々な分野の専門家が起業に関わる種々の悩みに応え、相談者の問題解決と経営者としての知識向上を図ります。	29
			起業相談件数	
25	起業支援セミナー開催事業	市(経済政策課)、商工会	商工会と連携し、ビジネスプランの立て方、資金調達、販路拡大など、起業に際しての課題となるようなテーマを選定し、対策やノウハウなどを学ぶためのセミナーを開催します。	29
			起業支援セミナーの年間受講者数	
26	商店等新業種等転換支援事業	市(経済政策課)、事業者	市内の現用店舗や空き店舗の社会的課題へ対応するための改修工事や、改修工事後の家賃負担に係る初期費用の一部を補助することで、需要に応える業種や業態への転換を支援します。	30
			商工業支援事業補助金(商店等新業種等転換支援事業)の交付件数	

### 基本方針(2)雇用促進と働く環境の整備

27	雇用対策の推進	市(経済政策課)、国(埼玉労働局)	埼玉労働局及びハローワークと連携し、求職相談等の支援を行うとともに、求人企業への相談支援や就職面接会等を実施します。また、事業者・労働者双方を対象とした労働セミナーや、若年無業者等を対象としたセミナーを、埼玉県と共催して実施します。	29
			国、県との連携・共済事業数	
28	就職・就労支援の充実	市(経済政策課、障害福祉課、長寿介護課、協働推進課、生活支援課)	キャリアカウンセラーが就職活動に役立つ内容の講座を様々なテーマで開催し、求職者の初歩的な課題解決を図ります。また、職場での仕事上の悩みや仕事と家庭の両立などに至るまで、働くこと全般に関する様々な相談にも応じます。さらに、関係各課と協力し、女性・障がい者・高齢者・外国人の就職・就労支援を行います。	29
			就職支援セミナー、就職支援・キャリアデザイン相談の開催回数	
29	事業者向け公共施設貸し出しの促進	市(経済政策課・各施設所管課)、事業者	コロナ禍でテレワークが推進されている現状を踏まえ、市内公共施設をサテライトオフィスやシェアオフィス、コワーキングスペースとして事業者に貸し出します。また、会議室を持たない小規模事業者等に密を避けて会議等を行っていただくために、各施設所管課と協力し、市内公共施設の会議室の貸し出しを促進します。(一般向け貸し出し対象外施設を除きます)	30
			公共施設の事業者への貸し出し数	
30	永年勤続従業員の表彰	市(政策秘書室)、事業者	戸田市表彰規則に基づき、市内の同一事業所に引き続き10年又は20年勤務し勤務成績良好な者に対して行います。	29
			永年勤続従業員の表彰数	
31	ビジネスマナー研修会開催事業	市(経済政策課)、商工会	市内の事業者の新入社員や若手社員、教育担当者等を対象に、接遇や応対等の初歩的なビジネスマナーなどを身につける機会として、研修会というかたちで開催します。	29
			市内企業の新人研修やマナー研修となる講座の実施回数	

### 基本方針(3)ダイバーシティ経営の推進

32	事業者に対する多様な人材確保支援	市(経済政策課)、事業者	埼玉労働局と締結している雇用対策協定に基づき、ハローワーク及び関係各課と連携した戸田市に有効な事業計画を毎年策定し、「女性・障がい者・高齢者・外国人」を含む多様な人材確保の支援を行います。	29
			埼玉労働局及び関係各課における毎年度の事業計画達成を目指す。	
33	多様な働き方を推進する職場環境整備	市(経済政策課)、事業者	コロナ禍の社会情勢や働き方改革、通勤時間の削減などへの対応策としてテレワーク等の職場環境整備の促進が求められています。大きく変わりつつある多様な働き方のニーズを把握し、ITコンサルタントのアドバイス事業、セミナー等の導入等、有効な支援策を検討しつつ、導入に向けた取組みを行ってまいります。	29
			導入支援を行った事業者数	
34	多様な働き手の雇用拡大に向けた事業者への働きかけの促進	市(経済政策課)、事業者	女性・障がい者・高齢者・外国人雇用の促進に向け、事業者へ情報提供や啓発活動を行います。	29
			埼玉県の認定する多様な働き方実践企業数	

# ◆4つの柱Ⅳ◆ 社会的責任の遂行

## 基本方針(1)持続可能な事業運営

施策名	推進主体(主管課)	事業概要	第5次総合振興計画での 該当施策
		目標となる指標	
35 事業承継問題へのサポート	市(経済政策課)、金融機関、商工会	約4割の企業が事業承継に対し何も取り組んでいない状況において、行政で出来る役割としては主として情報提供が考えられます。 金融機関、商工会との協力体制を築き、金融機関等が行っている相続や税制のセミナーをメルマガなどで紹介して情報提供します。 金融機関や商工会と協力し行うセミナーの情報提供数、相談会等の実施数	30
36 経営アドバイザーによる個別相談	商工会、事業者	市内事業者を取り巻く環境は一層厳しくなっており、商工会で専門の相談員による経営相談を実施し、課題解決へ向けての伴走型支援により事業者への適切なサポートを行う。 経営アドバイザーによる個別相談実施数	30
37 業務効率化支援と啓発	市(経済政策課)、事業者、商工会	人手不足、労働者不足への対策として、AIやRPAの活用についての情報を企業に提供します。支援策としては、AIやRPAの導入についての講習会やセミナーの開催等の情報提供と啓発活動を行います。 情報提供の実施数	30
38 企業の経営基盤強化	市(経済政策課)、商工会、事業者	災害や事故、感染症、インフラやシステムの障害等をはじめ、様々な事態により事業が中断するリスクを極力回避できるよう、事業の継続や早期復旧を確実にする事業継続力強化計画策定を推進します。 事業継続力強化計画を策定した事業者数	30
39 経営革新計画の策定支援	市(経済政策課)、商工会、埼玉県、事業者	埼玉県では経営革新計画の策定を推進しており、経営革新計画の承認を受けると様々な支援措置を受けられることから、商工会と協力し、市内事業者の経営革新計画の策定を支援します。 経営革新計画の承認数	30
40 中小企業融資事業	市(経済政策課)、金融機関、保証協会	市が市内金融機関に資金を預託し融資を実施するとともに、借入れの負担軽減のために利子補給を行うなど、中小企業の運転や設備等事業資金の円滑化を支援します。 市、県制度融資及び政策金融公庫貸付件数	30
41 合同企業説明会(面接会)の開催	市(経済政策課)、商工会、事業者、県、ハローワーク	戸田市での就職、或いは戸田市近隣の事業所への就職を希望する者と、人材を確保したい地域の中小企業とのマッチングを図る機会として、合同企業説明会または面接会を実施します。 合同企業説明会または面接会の実施回数	29、30
42 商工団体支援事業	市(経済政策課)、商工会	市内における商工業の経営の安定と事業の健全な進展、社会福祉の増進を図ることを目的として、戸田市商工会が市内事業者のために実施する事業の促進を支援します。 商工会が主体となって行う施策実施数	30

## 基本方針(2)社会貢献の促進

43 CSR認定活動を通して企業へのSDGsの推進	市(経済政策課)、経済団体、商工会	社会的に模範や目標となるような市内の企業を認定するCSR認定制度を開始し、地域に根付いた優良企業を顕彰し、地域経済の持続と繁栄を促します。また、CSRとSDGsの関係性について企業に分かりやすく周知します。 CSR認定制度の認定者数	30
44 学校と連携しての職業体験、社会体験事業	市(経済政策課・教育政策室)、事業者	生徒が将来の生き方を考え、自分自身の進路を見つめる機会を通し、望ましい勤労観や職業観を育成するため、社会体験活動を積極的に受け入れてくれる事業者の確保をサポートします。事業を行っている各中学校に対し、CSRを取得するなど一定の基準を満たしている事業者を紹介することで、お仕事体験3daysの裾野を広げていきます。 生徒を受け入れてくれる事業所数	30
45 企業人権学習等の充実	市(経済政策課、庶務課)	誰もが輝く働き方や人を大切にできる企業の取組等をテーマに、基本的な人権を尊重した明るい職場の確立を目指し、市内の企業の事業主や労働者担当者のほか従業員などを対象に開催します。 企業人権セミナーの参加人数	29、30

## 基本方針(3)地球環境に優しい街へ

46 エコに取り組む事業者への支援	市(経済政策課)、事業者	ISO等取得支援事業により、事業所における環境マネジメントシステム導入に際しての必要経費の一部を助成します。 また、住工混在が進行するなかで、地域環境に配慮した設備等の導入を支援し、住工共存が図れるまちづくりを推進します。 商工業支援事業補助金(ISO等取得支援事業、工業環境対策支援事業)の交付件数	30
47 低公害車導入の普及促進と環境整備	市(環境課)、市民、事業者	電気自動車およびインフラ整備を促進することにより低公害車の普及を目指すため、電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車購入の際や一般利用が可能な電気自動車用充電設備導入の際に補助を実施します。 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車や電気自動車用充電設備導入に係る補助件数	27

48	環境配慮型システム設置の支援	市(環境課)、市民、事業者	地球温暖化対策として、省エネ・再生可能エネルギー機器等の環境配慮型システム設置に対し補助を実施します。	27
			環境配慮型システムの導入に係る補助件数	